

様式2

|     |     |      |
|-----|-----|------|
| 教 科 | 種 目 | 発行者  |
| 外国語 | 英 語 | 学校図書 |

| 調 査 項 目                           | 意 見  |
|-----------------------------------|--|
| 1 知識・技能の習得<br>と思考力・判断力<br>・表現力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学年もいくつかの Chapter からなり、その中に Lesson と各コーナーがそれぞれ言語材料や目標に沿って系統的に配置されている。Talking Time などにおいて、買い物・道案内・電話の会話について3年間の発展性についてよく配慮されている。また、小学校外国語活動での学習を意識した入門期の指導に大きな工夫がみられる。</li> <li>・基礎的・基本的な知識・技能を習得するための言語活動として Section ごとに Activities として Listening, Speaking, Writing が設けてある。また、Talking Time や Reading など、話すことや読むことに重点を置いた単元があるなど、4技能を総合的に育成できるように配慮されている。</li> <li>・各 Chapter の終わりには Project として習得した知識・技能を活用して体験的な学習や問題解決的な学習ができる活動が設けてある。</li> <li>・各 Lesson の終わりに review が設けてあり、学習した言語材料を4技能それぞれの観点で復習できるようにしてあり、自己評価や学習の見届けに大いに役立つ。</li> </ul> |
| 2 主体的な態度の<br>育成                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲を喚起するために、第1学年では日常生活に関わる題材が多く、学年が進むにつれて、平和・キャリア教育・人権・食育・環境等、幅広い題材を扱っている。</li> <li>・Chapter の扉のページにどんな表現を学ぶのかを明記し、それらを学習することで何ができるようになるのかを示しているため、学習の見通しをもち目標を意識して学習を進めることができる。</li> <li>・復習のページがあることや、さらに Chapter の終わりに Check it out という文法事項のまとめが設けてあること、また、付録ページに目標文のまとめが位置付けられていることなど家庭学習に生きる工夫が多く見られる。</li> </ul>  |
| 3 「地域社会人」の<br>育成                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2学年 Lesson 5 で職業体験を扱い「自立力」を、第3学年 Lesson 5 で福祉的内容を扱い「共生力」を、第3学年 Book 3 Project で自分の人生について考えさせ「自己実現力」を育成することができる。</li> </ul>  |
| 4 印刷・造本                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の大きさや行と文字の間隔は概ね適当である。第1学年ではブロック体を使用しており、読みやすい。また、実際に点字が印刷されており、実感して理解を助けている。</li> <li>・表現活動に活用できる語句が More Words として、イラストと共に示されており使いやすい。ミニ辞典コーナーも活用しやすくなっている。</li> </ul>  |
| 5 総 評                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年の最初に一般動詞から導入するなど、指導内容の構成・配列に工夫・配慮がある。また、学年間の系統性・発展性がある。</li> <li>・既習の言語材料をその後の Section で使用したり、復習や説明ページを設けたりして、繰り返し学習することで4技能の定着を図る指導の工夫がされている。</li> </ul>  |